ScaleShift

オンプレミス / クラウドで実現する機械学習環境

June, 2019

ScaleShift

Docker ベース、オープンソースの Web クライアント アプリケーションです

・モデル構築フェーズ

- NGC / 自社リポジトリから機械学習 Docker イメージをワンクリックで取得
- その任意の Docker イメージを Jupyter notebook コンテナとして起動

・モデル学習フェーズ

- 構築に利用したライブラリごと Docker イメージに固めリポジトリへ保存
- クリックだけで Kubernetes クラスタ / Rescale へ大規模計算タスクを送信

基本的な動き

How does it work?

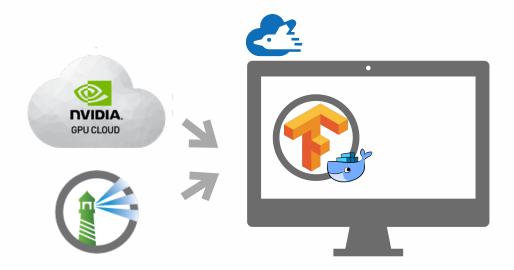
ScaleShift の起動

ローカルに Web サーバーが立ち上がります



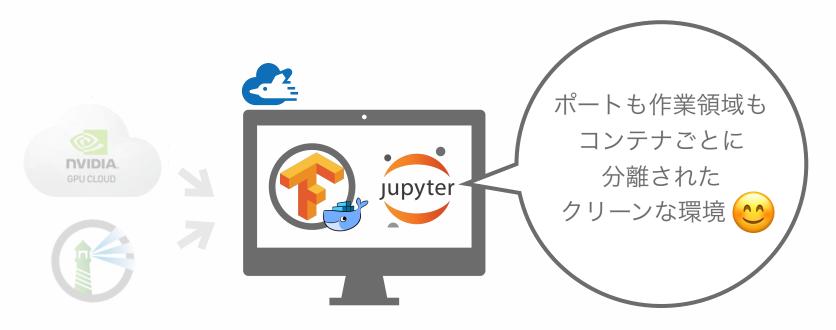
機械学習ソフトウェアのインストール

NGC / プライベートレジストリ からワンクリックでダウンロード



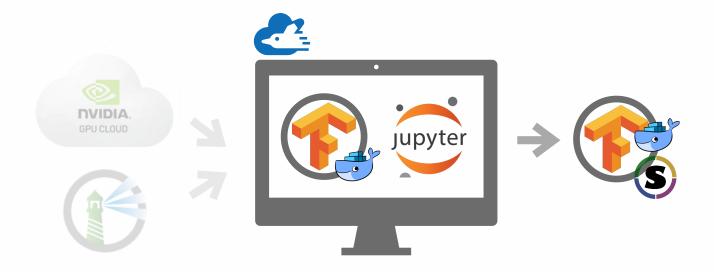
Jupyter notebook でのモデル構築

Jupyter でラップしたコンテナがかんたんに起動



大規模計算のためのラッピング

依存ライブラリやソースコード群をまとめ、ひとつのイメージに固めます



社内クラスタ / クラウドへ計算タスク投入

投入先に応じて必要な API が実行されます



Kubernetes 連携

Integration with a kubernetes cluster

機械学習 と Kubernetes

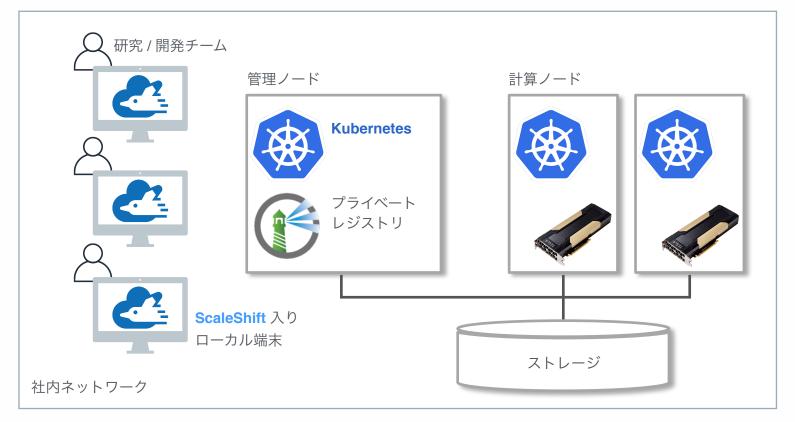
Web 界隈を中心にコンテナオーケストレーションのデファクトになった k8s。 機械学習の文脈でもコンテナ利用が盛んになり、応用事例が増えています。

- NVIDIA が公式にサポートを表明 [GTC 2018 Keynote, March 27]
- Mercari ML Ops Night Vol.1 [株式会社 メルカリ / May 23, 2018] https://mercari.connpass.com/event/85931/presentation/
- Jupyter だけで機械学習を実サービス展開できる基盤 [株式会社リクルートライフスタイル] https://engineer.recruit-lifestyle.co.jp/techblog/2018-10-04-ml-platform/
- Kubernetesによる機械学習基盤への挑戦 [株式会社 Preferred Networks / Dec 4, 2018] https://www.slideshare.net/pfi/kubernetes-125013757

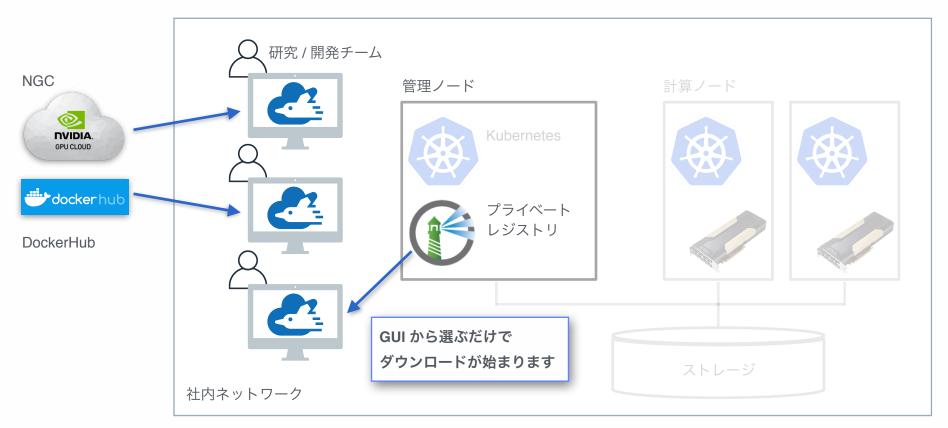
ScaleShift + Kubernetes 構成例







1. 機械学習ソフトウェアの選択

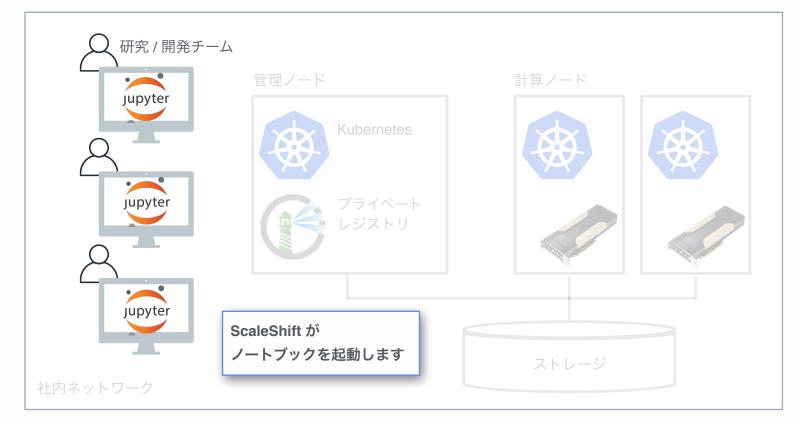


2. モデル構築

NGC





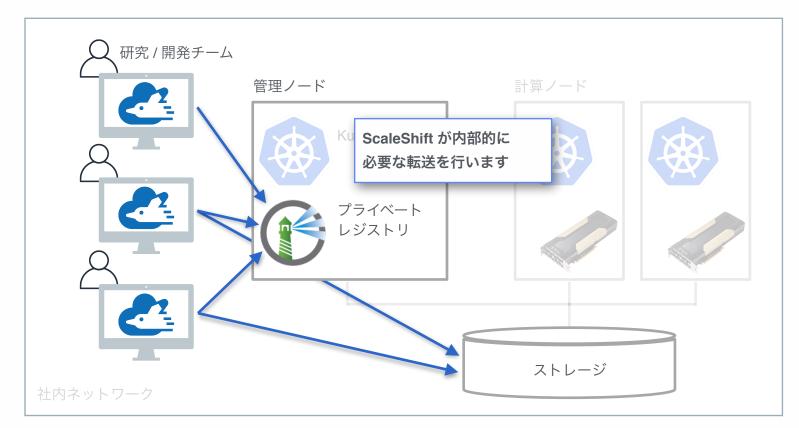


3. 実行環境・入力データの転送

NGC





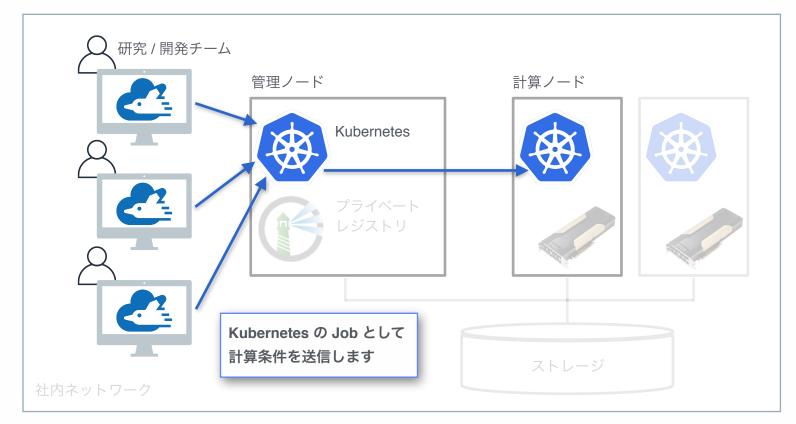


4. 大規模計算の実行を指示

NGC





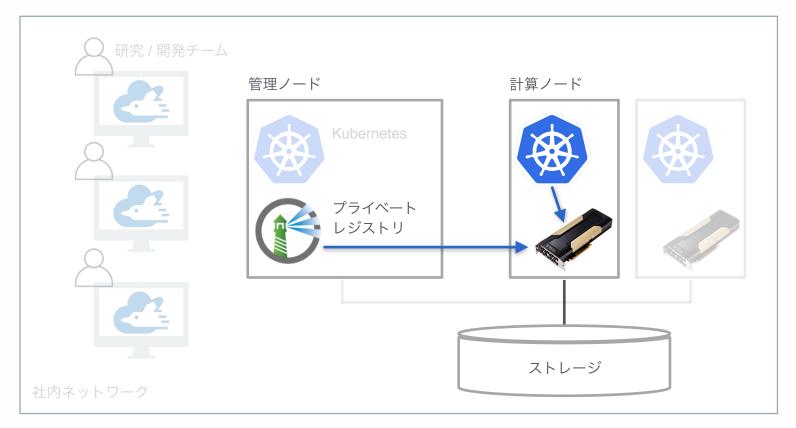


5. 大規模計算の実行

NGC





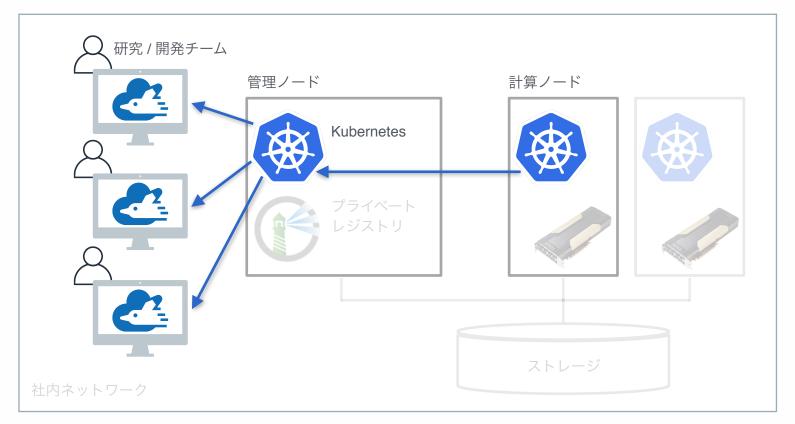


6. 計算結果の確認

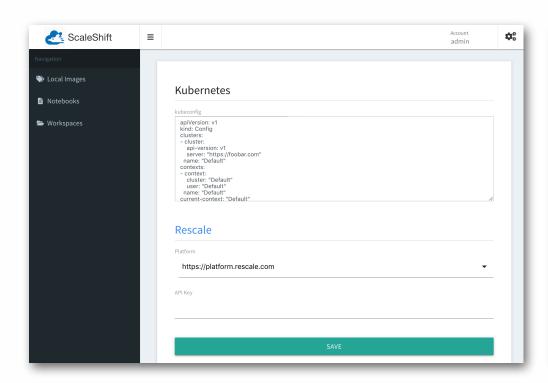
NGC

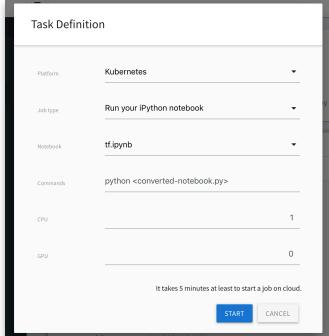






Kubernetes 設定 / タスク実行画面





ScaleShift の設定

Configurations

外部連携

| | 連携機能 | 設定値 |
|------------------|--|----------------|
| NVIDIA GPU CLOUD | • NVIDIA 社の管理する機械学習 Docker イメージの 一覧 / 詳細情報取得、イメージのダウンロード | API キー & ユーザ設定 |
| プライベートレジストリ | • 自社で管理する機械学習 Docker イメージの 一覧情報取得、イメージのダウンロード | 接続先 & ユーザ設定 |
| AWS | 機械学習 Docker イメージのダウンロードローカルファイルシステムと S3 間のデータ連携 | (実装予定) |
| Kubernetes | ・ 社内クラスタ / クラウドでの大規模計算実行 | kubecfg |
| Rescale | • Rescale プラットフォームでの大規模計算実行 | 地域指定 & API キー |

起動オプション (抜粋)

docker-compose.yml に設定を記載、起動できます

| | 設定概要 | 初期値 |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| SS_JUPYTER_MINIMUM_PORT | コンテナへの接続ポート動的割当開始番号 | 30000 |
| SS_LOG_LEVEL | アプリケーションのログ出力レベル | warn |
| SS_WORKSPACE_HOST_DIR | ホスト側の作業データ保存領域 | なし (指定必須) |
| SS_NGC_REGISTRY_ENDPOINT | NGC 接続先 | https://registry.nvidia.com |
| SS_NGC_REGISTRY_USER_NAME | NGC ユーザー名 | \$oauthtoken |
| SS_RESCALE_SINGULARITY_VERSION | Rescale での Singularity ランタイムバージョン | 3.2.0 |
| SS_RESCALE_JOB_WALLTIME | Rescale でのタスク実行最大時間 | 3600 |